

第 101 回 地区内中小企業 景 気 動 向 調 査 結 果

(平成 26 年 1 月～ 3 月実績)

(平成 26 年 4 月～ 6 月予想)

***** 目 次 *****

地区内データベース		1
全国 ・ 全道の概況		4
調 査 の 概 要		5
全 業 種 総 合		6
製 造 業		9
建 設 業		11
卸 売 業		13
小 売 業		15
サ ー ビ ス 業		17
特 別 調 査		19

地 区 内 デ ー タ ベ ース

1. 人 口・世 帯 数 動 向 (平成 26 年 3 月末)

町 村 名	人 口			世 帯 数		
	人 数	前年同月比	3 月 末 比	世 帯 数	前年同月比	3 月 末 比
平 取 町	5,488	24	24	2,639	74	74
日 高 町	12,824	-315	-315	6,356	-102	-102
新 冠 町	5,726	-60	-60	2,681	11	11
新 ひ だ か 町	24,354	-395	-395	12,042	-79	-79
浦 河 町	13,371	-149	-149	6,895	15	15
様 似 町	4,724	-163	-163	2,246	-34	-34
え り も 町	5,117	-104	-104	2,122	-5	-5
広 尾 町	7,473	-148	-148	3,445	-2	-2
大 樹 町	5,838	-65	-65	2,616	-26	-26
日高・十勝地区合計	84,915	-1,375	-1,375	41,042	-148	-148
札 幌 市	1,928,932	9,268	9,268	1,007,764	13,100	13,100
江 別 市	120,197	-647	-647	54,812	342	342
石 狩 市	59,777	-498	-498	27,001	166	166
北 広 島 市	59,717	-327	-327	26,560	201	201
恵 庭 市	68,751	-46	-46	31,066	182	182
千 歳 市	94,700	528	528	46,002	634	634
石狩地区合計	2,332,074	8,278	8,278	1,193,205	14,625	14,625
苫 小 牧 市	173,884	-28	-28	85,912	970	970
厚 真 町	4,712	-27	-27	2,090	24	24
む か わ 町	9,099	-199	-199	4,461	-30	-30
胆振地区合計	187,695	-254	-254	92,463	964	964
営業区域合計	2,604,684	6,649	6,649	1,326,710	15,441	15,441

(資料出所：各市町村)

*平取町、日高町、えりも町の人口に外国人登録者数は含まれていません。

2. 企 業 倒 産 状 況 (平成 26 年 1～ 3 月中)

千万円

単位：件・千万円	件 数	負 債 金 額	件数前年同期比	金額前年同期比
苫 小 牧 管 内	1	16	-7	-225
(内・新冠町～えりも町)	0	0	-5	-209
業種および件数	建 設 業			
地区および件数	苫小牧市 1 件			
北 海 道	92	1,574	-18	-1,859
全 国	2,460	54,835	-319	-736

(資料出所：東京商工リサーチ)

3. 労働需給状況

平成 26 年 1 月

	浦 河 (人・倍)	全 道 (人・倍)	前年同月比(%・ポイント)		前月比(%・ポイント)	
			浦 河	全 道	浦 河	全 道
月間有効求人数	855	71,140	19.92	16.54	16.33	1.89
月間有効求職者数	849	89,963	-4.50	-9.54	5.73	2.54
月間有効求人倍率	1.01	0.79	0.21	0.18	0.09	-0.01

平成 26 年 2 月

月間有効求人数	879	76,455	18.46	13.93	2.81	7.47
月間有効求職者数	924	93,351	-2.33	-10.08	8.83	3.77
月間有効求人倍率	0.95	0.82	0.17	0.17	-0.06	0.03

平成 26 年 3 月

月間有効求人数	937	81,793	24.93	12.60	6.60	6.98
月間有効求職者数	991	99,481	-7.73	-10.72	7.25	6.57
月間有効求人倍率	0.95	0.82	0.25	0.17	0.00	0.00

(資料出所：浦河公共職業安定所)

4. 浦河町・新ひだか町静内 金融機関預金・貸出金残高 (平成 26 年 3 月末現在)

単位：百万円・%

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	貸 出 金	前年同月比	前 月 比
124,497	0.80	3.34	55,394	-7.02	6.49

(資料出所：浦河・静内金融協会)

5. 浦河町・新ひだか町静内 手形交換高

平成 26 年 1 月

	当 月	前年同月比 (%)	前月比 (%)
交 換 枚 数 (枚)	485	-8.32	12.53
交 換 金 額 (百万円)	473	-46.61	11.03
不渡り手形枚数 (枚)	28	—	3.70
不渡り手形金額 (百万円)	14	—	-12.50

平成 26 年 2 月

交 換 枚 数 (枚)	373	-5.57	-23.09
交 換 金 額 (百万円)	329	-58.25	-30.44
不渡り手形枚数 (枚)	16	—	-42.86
不渡り手形金額 (百万円)	7	—	-50.00

平成 26 年 3 月

交 換 枚 数 (枚)	344	11.33	-7.77
交 換 金 額 (百万円)	327	-52.47	-0.61
不渡り手形枚数 (枚)	12	1,100.00	-25.00
不渡り手形金額 (百万円)	5	400.00	-28.57

(資料出所：浦河・静内金融協会)

6. 建 築 確 認 申 請

単位：件数

		件 数	前 年 同 期 比	前 四 半 期 比
当 金 庫 管 内	26/ 1～25/ 3 月中の申請	14	-8	-13
(新ひだか町～広尾町)	25/ 4～26/ 3 月迄の累計	131	-8	

(資料出所：各町村)

7. 気 象 情 報

平成 26 年 1 月中

	本 年			平年偏差・平年比		
	気温 (℃)	降水量 (mm)	日 照 時 間	気温 (℃)	降水量 (%)	日照時間 (%)
浦 河	-3.3	55.5	140.1	-0.8	150.4	100.4
広 尾	-4.0	46.5	181.3	0.5	60.7	113.3

平成 26 年 2 月中

浦 河	-2.7	11.5	197.7	-0.3	47.1	121.8
広 尾	-4.2	28.5	196.1	0.1	53.7	122.3

平成 26 年 3 月中

浦 河	0.1	28.5	192.5	-0.4	58.04	99.12
広 尾	-0.2	82.0	184.9	0.3	89.91	98.72

(資料出所：国土交通省 気象庁)

全 国 ・ 全 道 の 概 況

信金中央金庫がまとめた全国の信用金庫の窓口からみた中小企業の景況によると、平成26年1～3月期(今期)の業況判断D Iは $\Delta 2.8$ と、前期比0.3ポイントの小幅な水準低下となった。ただ、前回調査における今期見通し($\Delta 6.1$)を3.3ポイント上回っており、マインド改善基調は維持された。収益面では、前年同期比売上額および収益の判断D Iが、それぞれ6.3、 $\Delta 2.0$ と、ともに改善した。また販売価格判断D Iは3.9と、小幅上昇した。人手過不足判断D Iは $\Delta 16.2$ と、不足感が拡大した。業種別の業況判断D Iは小売業と不動産業で小幅改善したものの、それ以外の4業種では低下した。地域別には、改善6地域、低下5地域とまちまちだった。平成26年4～6月期(来期)の予想業況判断D Iは $\Delta 17.2$ 、今期実績比14.4ポイントの大幅な悪化見通しとなっている。業種別には6業種全てで、地域別にも全11地域で悪化する見通しにある。

日本銀行札幌支店が4月11日発表した金融経済概況によると、北海道地域の景気は、緩やかに回復している。すなわち、最終需要面の動きをみると、公共投資は、各種経済対策を受けて増加している。輸出は、増加している。設備投資は、景気が緩やかに回復する中、売上げや収益が改善するもとで、増加している。個人消費は、雇用・所得環境等の改善を背景に、緩やかに回復している。観光は、一段と好調に推移している。住宅投資は、持ち直しの動きが一服している。生産は、国内外需要の増加を背景に、増加している。雇用・所得情勢を見ると、労働需給は改善している。雇用者所得は回復している。

需要項目別動向

- 個人消費……雇用・所得環境等の改善を背景に、緩やかに回復している。この間、単価の高い商品やサービスは引き続き堅調に推移している。なお、足もとでは、消費税率引上げ前の駆け込み需要とその後の反動がみられた。大型小売店売上高は、高額商品の販売に加え、季節行事における消費が引き続き好調な中、幅広い品目の販売が堅調に推移するなど、着実に回復しつつある。コンビニエンスストア売上高は、新規出店効果や顧客層の広がりもあって、堅調に推移している。この間、単価の高い商品に対する消費は引き続き堅調となっている。乗用車販売は、新型車の投入効果から、増加している。また、家電販売は、省エネ性能の高い冷蔵庫などの白物家電やパソコンの売上げが好調な中、薄型テレビの販売が下げ止まっており、全体としては増加している。観光については、来道者数が大幅に増加しているほか、宿泊単価も上昇傾向にあり、一段と好調に推移している。特に外国人観光客は、北海道人気が高まる中、海外直行便の増加もあって、アジアを中心に大幅な増加が続いている。道内客の旅行は、国内旅行を中心に増加しているほか、単価の高い旅行商品を選択する動きも広がるなど、一段と好調に推移している。
- 公共投資……各種経済対策を受けて増加している。公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額(年度累計)をみると、国の2013年度本予算の規模拡大や補正予算を受けて増加している。
- 住宅投資……持ち直しの動きが一服している。新設住宅着工戸数をみると、貸家は減少傾向にあるほか、分譲は減少している。また、持家も消費税率引上げ前の駆け込み需要の反動などから、前年を下回っている。この間、建設業者の人手不足や建設コストの上昇などから住宅投資を見送る動きがみられている。
- 雇用・所得……労働需給は改善している。雇用者所得は、回復している。有効求人倍率(常用)は、幅広い業種で人手不足感が強まる中、新規求人数が増加していることなどから、前年を上回って推移している。雇用者所得は、常用労働者数が増加する中、所定外給与の増加に加え、所定内給与についてもベアを含めて引き上げる動きがみられており、回復している。